

部局名	生涯学習部	所属名	青少年課	所属長名	小松 静子	電 話	481-0306
-----	-------	-----	------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		4071		事務事業名称		青少年施設運営管理事業					短縮コード		経常	4071	臨時	4072	
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	11	青少年対策費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		○八千代市青年館設置及び管理に関する条例 ○八千代市「ガキ大将の森」キャンプ場の設置及び管理に関する条例									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
○青年館／県の補助を受けて昭和39年度から設置が進められてきた。青少年の健全育成及び地域社会における福祉活動の促進のため、青少年や青少年を健全に育成することを目的とする団体、地域住民等の研修、集会等の場所を提供する。 ○「ガキ大将の森」キャンプ場／子ども達が野外での共同生活を通して絆を深めたり、少年リーダーとしての指導力を身に付けるための施設。																	
事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	6本の柱（章）		02	第2章教育文化都市をめざして							
○青年館／現在建っている4館の内3館は昭和40年代に建てられている。近年は青少年層の減少や社会情勢、生活環境の急激な変化により青少年の利用は少なくなっている。しかし、地域の公共的な施設としての役割も担っており、地域住民に活用されている。ただし、老朽化が進んでおり、当面の使用に支障はないが、根本的な修繕や耐震補強は出来ない状況である。 ○「ガキ大将の森」キャンプ場／開設より20年以上経っており、キャビンや管理棟の老朽化が進んでいる。しかし、市内に少年を対象とした野外活動施設は少ないため、今後も利用希望者が大幅に減少することはないと思われる。							大項目（節）		05	第5節青少年健全育成							
							中　項　目		01	1. 青少年健全育成							
							小項目（施策）		01	(1) 青少年健全育成支援体制の整備							
							細　項　目		03	③青少年育成施設の充実							
実施計画の計画事業																	
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○八千代市内の青年館（勝田・小板橋・阿蘇・下町） ○八千代市「ガキ大将の森」キャンプ場 ○青年館・「ガキ大将の森」 キャンプ場の利用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 青年館及び「ガキ大将の森」 キャンプ場を使用可能な状態に保つため、建物の維持管理，修繕，管理補助業務委託（「ガキ大将の森」），浄化槽維持管理委託等を行った。							
	※平成25年度に計画していること： 青年館及び「ガキ大将の森」 キャンプ場を使用可能な状態に保つため，建物の維持管理，修繕，管理補助業務委託（「ガキ大将の森」），浄化槽維持管理委託等を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	○青年館／青少年の健全育成及び地域社会における福祉活動の促進のため，青少年や青少年を健全に育成することを目的とする団体，地域住民等の研修，集会等の場所を提供する。 ○「ガキ大将の森」 キャンプ場／青少年の健全育成を図るため，野外活動体験のできる場を提供する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	青年館の数	館	4	4	4	4	
	指標 2	「ガキ大将の森」 キャンプ場	施設	1	1	1	1	
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設の維持管理費	千円	3, 843	4, 015	3, 906	3, 943	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	青年館の総利用人数	人	5, 044	5, 000	4, 749	5, 000	
	指標 2	「ガキ大将の森」 キャンプ場の総利用人数	人	2, 029	2, 100	2, 012	2, 100	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		4071	事務事業名称	青少年施設運営管理事業			所属名	青少年課
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	3, 843	4, 015	3, 906	3, 943	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			○需用費 906千円 ○役務費 91千円 ○委託料 759千円 ○使用料及び賃借料 2088千円	○需用費 1071千円 ○役務費 97千円 ○委託料 759千円 ○使用料及び賃借料 2088千円	○需用費 968千円 ○役務 91千円 ○委託料 759千円 ○使用料及び賃借料 2088千円	○需用費 1000千円 ○役務費 96千円 ○委託料 759千円 ○使用料予備賃借料 2088千円	
	人件費 (B)			千円	7, 281. 8	7, 179. 4	6, 227. 7	
トータルコスト (A) + (B)			千円	11, 124. 8	11, 194. 4	10, 133. 7	12, 641. 1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		青年館及び「ガキ大将の森」キャンプ場を施設として提供することは、青少年、地域住民等の自主活動の場である青少年育成施設の充実になり、青少年健全育成支援体制の整備に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		青年館は市条例により青少年の健全育成だけではなく、地域住民等の集会の場を提供することとされている。しかし、老朽化のため地元移管も現実的ではなく、当面は現状のまま施設として提供していく。 「ガキ大将の森」キャンプ場についても、老朽化の問題はあるが、環境に恵まれた市内唯一の宿泊ができる野外体験施設であることから、当面施設として提供していく。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		地域社会での青少年健全育成活動、福祉活動等の促進のため、市の責任のもと実施しなければならない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		使用できる状態に保ち、市民に利用していただく。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		維持管理していくには、公共料金・修繕など経費がかかる。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
						2		実施主体 （所管部署）	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	4071	事務事業名称	青少年施設運営管理事業				所属名	青少年課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			青年館については地域の公共的な集会施設として、「ガキ大将の森」キャンプ場については市内唯一の野外活動施設として利用されていることから、使用可能な状態に保ち利用者の状況とコスト面を検証しながら運営管理していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			多額の修繕費用等が必要となる見込みの場合は、廃止について具体的に検討する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
施設の老朽化にともなう修理等の要望が主なものである。									

所属長コメント	青年館は、地域の公共施設として研修・集会など地域の方々に利用され、また、ガキ大将の森キャンプ場については、市内唯一の野外活動施設として多くの家族や青少年団体に利用され健全育成の場として提供している。青年館（４館）・ガキ大将の森キャンプ場両施設とも老朽化が進んでいるが、根本的な修繕や耐震補強は出来ない状況であるため、耐用年数を考慮すると使用可能な状態に保ち運営管理を継続する。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									